

第2日

***** 小倉競輪 ファンクラブ *****
vol.1965 2021/04/07
制作・編集責任/コンドル出版社 武田 圭二

<http://www.kokurakeirin.com/>

【小倉競輪場】 電投番号 [81#]

★ 広島市営 第1回 後節 第2日 WINTICKET杯 ★
ミッドナイト競輪

2021/4/☆・8(木)・9(金)

《目次》

◆展望&出場予定選手コメント

《展望&出場予定選手コメント》

■■■1R■■■出走表(本命率75%) (発走時間20時40分) (電投締切20時37分)

<展望> 『積極果敢「伊加」には復調「岡崎」』

予選の②(伊加)は、新人吉田勇氣にスタートを決められた事で叩きに行ったが、猛然と突っ張られ為す術が無かったが、3期目なので練習してるから調子は悪くないし、小倉バンクは大好きであれば、初日の分迄自力で力出し切る。番手は持病の腰痛は現在の処大丈夫の先輩①(岡崎)、抜くか抜けないかは五分と五分。不振の④(妹尾)迄が堅い絆で結ばれた岡山トリオ。大阪の支部長代行として奮闘してる③(陶器)は、岡山トリオの後でも5車立ならば4番手はあると考える事が出来れば捲りを決めてるやも。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 岡崎哲昌 気持切り替えて走る。体調は大丈夫。伊加の番手。
- 2 伊加哲也 出させて貰えなかった。後2人ですね、自力で頑張る。
- △3 陶器一馬 このメンバーなら頑張るとしか言えません。
- ×4 妹尾英信 岡山でまとまり、3番手を固めます。
- 5 近藤幸徳 1回ぐらい確定板に乗りたいです。陶器君の番手。

<展開予想>

←【2】14【3】5

<穴を探る> (陶器)が捲りを出す。 3-1 3-2

2車単 1=2 1-3 1-4
3連単 1=2-34

■■■ 2 R ■■■ 出走表 (本命率 85%) (発走時間 2 1 時 0 0 分) (電投締切 2 0 時 5 7 分)

<展望> 『気合入れ直した「倉松」で首位不動』

初日予選の①(倉松)は落車の影響はあったにしても、逃げた伊藤嘉浩の思わぬかゝりに捲り不発で人気を裏切ったが、これで目が醒めたのは間違いなく、6車立で先行1車、そして実力からして逃げ切りはほぼ間違いない。番手は四国の巧者③(行成)、付いて行くものと信じて。練習はしてる②(和田)は折り合い、直線勝負で2連対。予選は後方から捲りに行ってた④(木幡)は元気なので、(倉松)の番手で勝負する事も考えられないではない。地元⑤(今村)は(木幡)に任せる事に。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 倉松 涼 体が重くて自信は無いが、修正して頑張ってみます。
- △ 2 和田誠吾 このメンバーならライン大事に四国の後。
- 3 行成大祐 調子は悪くないと思います。倉松の番手。
- × 4 木幡幸仁 初手は中四国の後から、何かします。
- 5 今村康志 九州ラインを大事に木幡の後です。
- 6 服部竜二 久し振りにしては悪くなかった。単騎です。

<展開予想>

←【1】 3 2 4 5 6

<穴を探る> (倉松)は多分負けない。

2車単 1-3 1-2 1-4
3連単 1-3-2 4 5

■■■ 3 R ■■■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 2 1 時 2 0 分) (電投締切 2 1 時 1 7 分)

<展望> 『完調「吉田勇」が再度逃げる』

今回の地元戦に備えた②(吉田)、初日予選は世話に成ってる大先輩、木谷涼とこゝの⑥(森山)を連れてやった事は赤板突っ張り先行、悠々押し切った事で調子の良さを確かめたのでは、こゝは(森山)⑦(高松)に任されたが、相手も強いので、後より人気に応える自力で押し切って欲しい。①(赤松)に任された事でやる気に成ってる③(真鍋)は逃げるか、番手で勝負するかは展開次第。続く(赤松)の調子は上々。こゝでの注目は予選で117期新人倉松涼を相手に押し切った⑤(伊藤)、再度の気合で捲れば再勝も。④(坂本)がマーク。

<出場予定選手コメント>

- × 1 赤松誠一 倉松は鐘で行って欲しかった。真鍋君に任せる。
- ◎ 2 吉田勇気 突っ張り決めてたんですよ。先行基本の自力。
- 3 真鍋伸也 赤板で踏み過ぎて番手に飛び付けなかった。位置に拘わる。
- 4 坂本佳憲 大中に付いて行けてるし悪くない。伊藤さん。
- △ 5 伊藤嘉浩 競輪は気合ですね、逃げ切れて良かった。自力。
- 6 森山昌昭 勇気(吉田)の頑張りですよ。こゝは番手です。
- 7 高松直満 練習で那須久幸とモガいて来た成果。地元の後。

<展開予想>

←【3】 1 【2】 6 7 【5】 4

<穴を探る> 好調(伊藤)がこゝは捲る。 5-4 5-2

2車単 2=3 2-5 2-1
3連単 2-3=1 5

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表（本命率65%）（発走時間21時40分）（電投締切21時37分）

<展望>『117期ルーキー「内藤久」が力で制圧』

予選の①（内藤）はあまりにも運行が下手過ぎて、3番手を固めていた陶器一馬はバック踏み切れず切り替えて、最悪の6番手に成ったが、2角からこゝの⑥（田山）を捲り切ったのは実力であり、小倉バンクとの相性なのかも、こゝは⑦（城木）と2車に成ったが、逃げを第一に捲りはあく迄も展開次第。予選の内容は（内藤）より良かった②（大中）は、同県の先輩③（樫村）が後であれば自力で連勝狙う。九州はてつきり（田山）を先頭に結束すると思われたが、何かやりたい地元⑤（木谷）は決めずにした意図は（内藤）の番手を考えての事かも。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 内藤久文 レース内容は反省ですが、調子は良い。自力。
- 2 大中拓磨 坂本さんと決まったのが嬉しい。積極的に自力。
- △3 樫村伸平 内藤がモコモコしてたので、つい内を見たのが。大中です。
- 4 川添輝彦 田山が強かった。再度、田山に任せます。
- 5 木谷 涼 勇気（吉田）を抜けなかったので修正する。こゝは決めず。
- 6 田山 誠 冷静に走れた、2着なら充分。自力です。
- ×7 城木健治 伊藤さんが強くて休めなかった。後輩内藤。

<展開予想>

←【6】4【2】3【1】7 5

<穴を探る> 兵庫コンビで決まる。2=3

2車単 1=2 1-3 1-7

3連単 1=2-37

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表（本命率50%）（発走時間22時00分）（電投締切21時57分）

<展望>『予選を反省した「高鍋」が実力の発揮』

予選の①（高鍋）は、中野雄喜・鈴木伸之の3番手をキープした時は捲れはしなくても直線勝負で突き抜けるのではと思ったが、そこ迄の調子ではなかったのか、全く伸びなかったのは、こゝでも不安しかないが、このまゝでは終われないの気持が強ければ、先行・捲りの自力で何とかする闘志。連携する④（仲山）は、こゝに来て1着を取れてるので逆転は互角以上。大好きな小倉で復活の狼火を挙げたのは実力者⑤（中村）、初日の動きなら逃げて押し切れるし、捲りを決めてる事も。後は再び②（窓場）。練習では戻ってる新人③（池川）は、⑦（取鳥）と2車でも果敢に攻める条件で。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 高鍋邦彰 番手に飛び付けなかったのが敗因。自力基本。
- 2 窓場加乃敏 頑張ってくれた美千隆（中村）に任せます。
- ×3 池川瑠威 後に申し訳ないレースをした。自力です。
- 4 仲山 桂 調子は大丈夫です。高鍋に任せます。
- △5 中村美千隆 こゝも窓場さんの前で自力で頑張ります。
- 6 田島高志 前の2人が強くて付いて行けなかった。こゝは決めず単騎。
- 7 取鳥敬一 ライン大事に、池川君の番手です。

<展開予想>

←【1】4 6 【5】2【3】7

<穴を探る> 復調（中村）が狙い。 5-2 5-1

2車単 1=4 1-5 1-3

3連単 1=4-35

■■ 6 R ■■ 出走表 (本命率 75%) (発走時間 22時20分) (電投締切 22時17分)

<展望> 『地元「宮本」「長野」コンビで決まる』

今回の地元戦は決勝に乗る事しか考えてなかった①(宮本)、徳島の新人蔣野翔太の思わぬ快走にやられたが、何度も仕掛けていたのはやる気であり調子か、こゝは小倉グループの先輩②(長野)に任されたなら危険な捲りではなく、1枠を利してスタートを決め、突っ張り先行で押し切るか、捲りに成っても仕掛けは早い。連携する(長野)は何も言わず好きに走らせる性格。小倉は1年に4・5回走ってる感じがする③(日浅)は、先輩⑥(長谷)に任された事で先行はしなくても捲りは考えてるのでは。四国は、⑦(松本)には④(齋藤)⑤(滝山)の徳島コンビで結束する。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 宮本龍一 蔣野君に脚負けですね。先輩と決める自力。
- 2 長野和弘 龍一(宮本)と一緒に考える事はありません。
- △ 3 日浅保幸 鐘で内を空けたのが大失敗。先輩の前で頑張る。
- 4 齋藤 仁 滝山さんと話をして、予選同様松本さんの番手。
- 5 滝山 実 前に付いて行けなかったでは。仁(齋藤)の後を固める。
- × 6 長谷俊昭 池川に任せての事なので。日浅に任せます。
- 7 松本充生 車間空け過ぎたのが失敗。徳島の前で自力。

<展開予想>

←【1】2【3】6【7】45

<穴を探る> 岡山コンビが狙い。 3=6

2車単 1=2 1-3 1-6

3連単 1=2-36

■■ 7 R ■■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 22時40分) (電投締切 22時37分)

<展望> 『復調「中川」は連対外さない』

直前の広島戦とは別人に成ってた①(中川)、考えた練習をしたのか、それともフレーム・セッティングを見直したとしか思えない強烈捲りで特選を制したのにはビックリ、やっと前期S級の脚に自信が甦った上に、ラインの先行型③(中野)を使える以上は連勝するしかない。任された(中野)は(中川)を信じて逃げれば、決勝に乗ってる調子にパワー。好調④(山田)が3番手を固める。初日特選は逃げた②(日野)は、⑤(芳野)と2車ならば先行と捲りを使い分ける。予選で連携していた⑥(在本)⑦(塩川)の中国コンビが第3のライン。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 中川勝貴 前回と全然違う調子です。中野さんとは連携あります。
- × 2 日野博幸 道中をつい踏み過ぎたのが。修正しての自力です。
- 3 中野雄喜 人気に応じて良かった。決勝に乗る自力です。
- △ 4 山田祥明 4着で準決とは運がある。近畿の後です。
- 5 芳野 匠 田上に付いて行けて良かった。日野先輩に付いて行きます。
- 6 在本直樹 もうちょっと踏めればね。調子は大丈夫。自力。
- 7 塩川真一郎 予選同様、在本をしっかり援護します。

<展開予想>

←【3】14【2】5【6】7

<穴を探る> (日野)のパワーが狙い。 2-5 2-1

2車単 1-3 1-4 1-2

3連単 1-3=24

■ ■ 8 R ■ ■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 23時00分) (電投締切 22時57分)

<展望> 『新人らしからぬ「緒方」の連勝』

父親(浩一・30期・引退)とマンツーマンで練習してる①(緒方)、阿蘇の山道をブツ倒れる迄引っ張られるだけでなく、家に帰ればじっくり走り方を教わってるのか、117期生とは思えないクレーバーな運行は安定して居り、早く親の期待に応えなければで連勝に全力を投じる。先輩③(徳永)が番手で、立ち直ってる⑥(藤田)迄の九州トリオで独占ムード。挑む②(藤井)の初日特選は反省でしかなかったので、(緒方)とやり合うか、流れでは番手で粘る気合。④(内藤)は、こゝではライン大事に任せる事に決める。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 緒方将樹 先行出来なかったのは反省ですが、調子良いです。積極的に。
△2 藤井 将 緊張して力を発揮出来なかった。気合入れ直し、自力です。
○3 徳永哲人 大誠に付いて行けてるので。将樹とは3回目、好相性。
×4 内藤 敦 日野は逃げてくれたのに、悪い事した。こゝは将(藤井)。
5 鈴木伸之 中野君が強くて抜けなかった。こゝは中国の後です。
6 藤田剣次 将樹(緒方)は初めて付いたが強い。熊本の後です。
7 西村 豊 調子は見ての通り悪くない。厳しいですね、一人でやる。

<展開予想>

←【1】36 7【2】45

<穴を探る> (緒方)の首位で再度(藤田)。1-6

2車単 1=3 1-2 1-4

3連単 1-3-246

■ ■ 9 R ■ ■ 出走表 (本命率 70%) (発走時間 23時20分) (電投締切 23時17分)

<展望> 『準決は7連勝中の「野口」が大本命』

人気を集めた初日特選の①(野口)、展開のアヤで6番手に成った事もだが、目の前に居た中川勝貴の動きに惑わされ2着でも悔いを残したけど、修正能力は高く、それが準決勝は目下7連勝、こゝは④(佐々木)⑤(國武)の佐賀コンビを従えての先行・捲り。小倉は走れば自然と気合入る③(田上)は、②(前反)に任されたなら、逃げを第一に四国コンビの動き次第では3番手をキープして、(野口)に先んじての捲りを狙うかも。練習してるのか突然強く成った⑦(蔣野)を利すのは⑥(宇根)、再度任せて今年初優出を狙う。

<出場予定選手コメント>

- ◎1 野口大誠 HSで仕掛けてれば行けてたのに。反省の自力です。
△2 前反祐一郎 つい内に差し込んでしまったのが、田上は勿論初めて。
×3 田上晃也 少し重かったが人気に応えたので。前反さんの前で自力。
○4 佐々木翔一 シューズを換えたのが当たりました。大誠(野口)君。
5 國武耕二 伸びてるから調子は大丈夫。翔一の後から突っ込みます。
6 宇根秀俊 蔣野は本当に強かった。再度とは嬉しい。
7 蔣野翔太 自分の力は出し切れました。先行基本の自力です。

<展開予想>

←【7】6【3】2【1】45

<穴を探る> (田上)の先き捲りに(前反)。 2=3

2車単 1-4 1-2 1-3

3連単 1-4-235